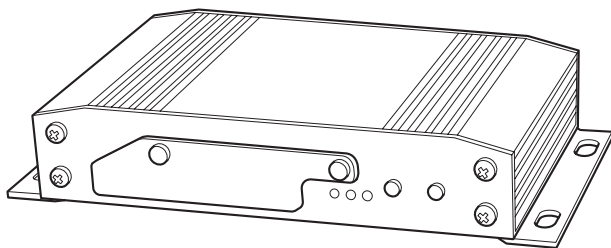


ドライブレコーダー

STX-001 / STX-001B

取扱説明書



弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を良くお読みいただき、正しくお使いください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	3
本機の取扱いについて.....	4
SDカードの取扱いについて.....	5
使用上のご注意.....	6
録画について.....	6
SDカードについて.....	7
GPS測位について.....	7
撮影された映像について.....	7
各部の名称と機能.....	8
本体.....	8
前面.....	8
背面.....	8
フロントカメラ・室内カメラ.....	9
マイク&スピーカー.....	9
同梱品とオプション.....	10
同梱品一覧.....	10
別売オプション一覧.....	10
本機の使い方.....	11
本機を使って取得できる情報.....	11
録画映像の種類.....	12
ノーマル映像（常時録画）.....	12
イベント映像（Gセンサーによる衝撃検出時のみ録画）.....	12
記録データの構成.....	13
SDカード内のフォルダー構成.....	13
eMMC（本体メモリ）内のフォルダー構成.....	13
LEDインジケーター.....	15
各LEDの機能、点灯・点滅パターン.....	15
SDカードの挿入.....	16
eMMC（本体メモリ）からパソコンへのデータコピー.....	17
付録.....	18
本体ファームウェアのアップデート.....	18
仕様一覧表.....	19
保証書.....	23

安全上のご注意（必ずお守りください）

使用する方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、区別して説明しています。 お守りいただく内容の種類を、絵記号で区別して説明しています。



警告：

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意（しなければならない）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。



実行（必ず行っていただく）の内容です。

本機の取扱いについて

警告



- ・サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- ・穴や隙間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- ・破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱しないでください。
- ・本機を次のような場所に保管しないでください。変色や変形など、故障の原因となります。
 - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど非常に高温になる所
 - 湿気や埃、油煙の多い所
- ・急発進や急ブレーキは避けてください。安全運転上、非常に危険です。また本体の脱落や落下等により、けがや物的損害の恐れがあります。
- ・運転者は、走行中に録画ランプ等を注視しないでください。



- ・異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して修理を依頼してください。
- ・万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

注意



- 気温の低い所から高い所へ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、そのまま使用しないでください。
- 本機の外装を清掃するときは、水や溶剤は使用せずに乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入ったときは、使用を中止し販売店にご相談ください。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。破損や故障の原因となります。
- 各端子に異物が入ると故障の原因となりますので、取扱いにご注意ください。
- 本機をベンジンやシンナー等の揮発性の薬品で拭かないでください。塗装面を傷めます。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



- 本機は精密機械です。静電気や電氣的ノイズでデータが消えることがあります。データが消えると正常に作動しません。
- カメラのレンズが汚れている場合は、柔らかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

SD カードの取扱いについて

警告



- SD カードの抜き差しは、本体 LED が全て消灯していることを確認してから行ってください。記録データ破損の原因となります。
- SD カードは挿入方向が決まっています。方向をよく確認の上、本体に挿入してください。無理に押し込むと故障の原因となります。
- SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

使用上のご注意

本機を使用中の交通違反、および本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 取扱説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に対し、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本機の取り付けによる車両の変色・変形に関して、弊社では補償いたしかねます。

録画について

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や使用によって生じた損害、および録画された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機で録画された映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は、録画映像では点滅する場合や色の判別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像や周辺の車両情報から判断してください。それにより発生した損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 真夏などの炎天下の中では製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてください。
- ・ 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密電子部品で構成されており、下記のような場合に記録データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合
 - ※ 長期間使用しなかった場合

SD カードについて

- SD カードリーダーライターは、使用する SD カードの容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により読み込みや書き込みができなくなる恐れがあります。
- SD カードの抜き差しは、必ず本体 LED が全て消灯していることを確認してから行ってください。
- 本機の動作中に SD カードの抜き差しを行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1 週間に 1 回程度フォーマットを行ってください。
- SD カードは消耗品ですので、1 年毎に新品への交換をしてください。長期間で使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンや DVD などの別媒体での保管をお勧めします。
- SD カードは必ず同梱品または弊社別売の SD カードを使用してください。指定以外の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 本機を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の補償について弊社は一切の責任を負いません。

GPS 測位について

- 本機を初めてご使用になる場合、GPS 測位が完了するまでに 10 分程度時間がかかることがあります。
- 日時や座標などは GPS からの情報を元に表示しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

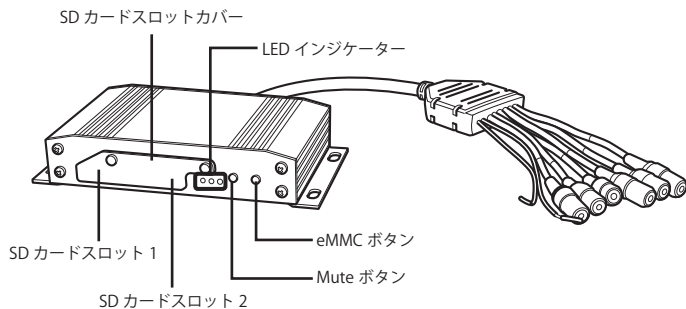
撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、録画映像の一部に歪みや影が生じる場合があります。これは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

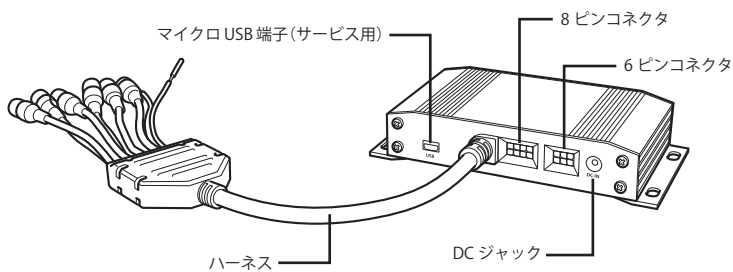
各部の名称と機能

本体

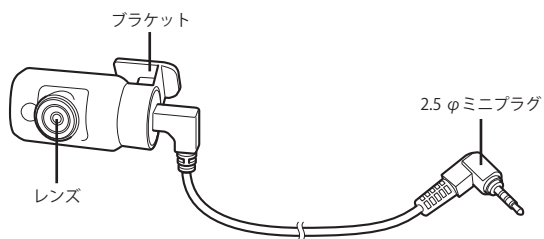
前面



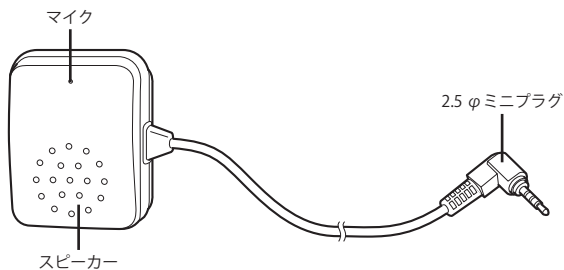
背面



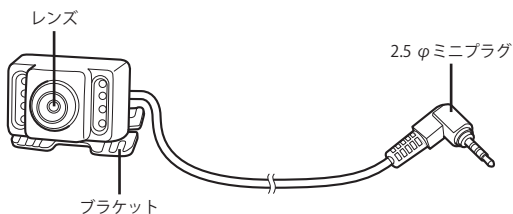
フロントカメラ・室内カメラ



マイク&スピーカー



バックカメラ (オプション)



同梱品とオプション

同梱品一覧

- 本体×1
- フロントカメラ×1
- 室内カメラ×1
- マイク&スピーカー×1
- GPS アンテナ×1
- 電源ケーブル（本体接続用）×1
- 8ピンコネクタケーブル（車速/ウィンカー/ブレーキ/リバーシ信号抽出用）×1
- 6ピンコネクタケーブル（拡張用）×1
- 取扱説明書（製品保証書）（本書）、取付手順書×1
- STX-001：SDカード（16GB）×2、STX-001B：SDカード（128GB）×1（専用ビューアソフトインストーラフォルダ、PDF版取扱説明書、PDF版取付手順書、PDF版DriveLog Viewer 取扱説明書格納）、専用工具

別売オプション一覧

- 4ch マルチカメラユニット
- バックカメラ
- モニター用コンポジット変換ケーブル
- カメラ用 3m 延長ケーブル
- SDカード（16GB、32GB、64GB、128GB）
- 安全運転診断ソフト

本機の使い方

本機を使って取得できる情報

本機は、エンジンを始動してから停止するまでの間、次の情報を記録し続けます。

- フロントおよび室内カメラによる前方視界、室内の録画（SDカードが必要）
- 万が一の追突などによる衝撃を検知してのイベント録画
- 車両の現在地（緯度・経度）の測定と日時の取得
- ドライバーの急ハンドル、急加速や急減速などの車両操作
- 車速、ウィンカーやブレーキの使用状況

タクシーでは、タクシーメーターの実車／空車信号も記録できます。

また、オプションのバックカメラを取り付けると、車両の後退時に後方視界を記録することができます。

※後方視界（バックカメラ映像）記録時は、フロントカメラ映像を記録しません。

本体起動時は、フロントカメラの映像を COMPOSITE 出力します。本体が正常起動中に eMMC ボタンを短押しすることで、COMPOSITE 出力がフロントカメラ映像→室内カメラ映像→バックカメラ映像の順番で切り替わります。

これらの取得情報は、専用ビューアソフト【DriveLog Viewer】を使って確認できます。

録画映像の種類

本機で録画できる映像は以下の2種類です。

ノーマル映像（常時録画）

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）まで、各カメラで撮影された映像を、120秒を1ファイルとしてSDカードに保存します。

イベント映像（Gセンサーによる衝撃検出時のみ録画）

万が一の追突などによる衝撃など、本体に内蔵のGセンサー（加速度センサー）で設定値を超える値が検出されたときに、発生前15秒～発生後15秒の合計30秒の映像をeMMC（本体メモリ）およびSDカードに保存します。

初期設定は、ノーマル映像、イベント映像共に『通常録画モード』です。

状況に応じ、『長時間録画モード』を選択することも可能です。

※録画モードの確認・変更は、専用ビューアソフト【DriveLog Viewer】で行います。

通常録画モード〔Norm〕

各カメラで撮影された映像を、フレームレート（1秒当たりのコマ数）30fpsでeMMC（本体メモリ）またはSDカードに録画します。

長時間モード〔Long10〕

フレームレートを減らし、通常録画モードよりも長時間録画するモードです。フレームレート10fpsで録画します。

長時間モード〔Long5〕

フレームレートを減らし、通常録画モードよりも長時間録画するモードです。フレームレート5fpsで録画します。

録画映像および運転情報の記録は、使用する SD カードの枚数および録画モードによって次のように異なります。

録画モード SD カード枚数		通常録画モード (30fps)		長時間録画モード [Long10 (10fps)]/[Long5 (5fps)]	
		イベント映像	ノーマル映像	イベント映像	ノーマル映像
0	eMMC (本体メモリ)	○	録画不可	○	録画不可
1	eMMC (本体メモリ)	○	録画不可	○	録画不可
	スロット 1 または 2	○	○	○	○
2	eMMC (本体メモリ)	○	録画不可	○	録画不可
	スロット 1	○	○	○	スロット 1 → 2 の 順で連続録画 ^{※2}
	スロット 2	スロット 1 のミラーリング ^{※1}		○	

※各メモリ内の録画データは、空き容量がなくなったら古いデータから上書きされます。

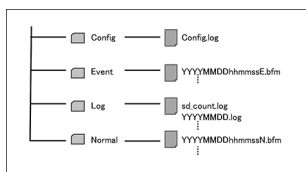
※1 スロット 1 とスロット 2 の SD カード容量が異なる場合は、録画可能時間は容量が少ないカードに依存します。

※2 スロット 1 の SD カード空き容量がなくなったらスロット 2 の SD カードに録画します。スロット 2 の空き容量もなくなったら、スロット 1 の古いデータから上書きされます。

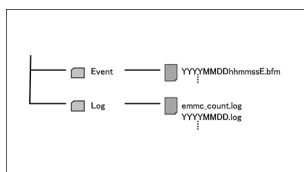
記録データの構成

記録データは、SD カードおよび eMMC (本体メモリ) に以下のような構成で保存されます。

SD カード内のフォルダー構成



eMMC (本体メモリ) 内のフォルダー構成



YYYYMMDDhhmmssE.bfm.....暗号化された動画ファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

hh：時（24 時間表示）

mm：分

ss：秒

E：Event

N：Normal

YYYYMMDD.log.....動作履歴が記録されたログファイルです。

YYYY：西暦 4 桁

MM：月

DD：日

sd_count.log.....SD カードに録画された日時と録画回数が記録されたログファイルです。

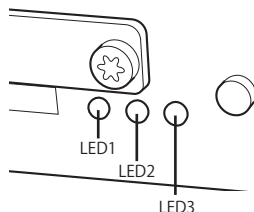
emmc_count.log.....eMMC（本体メモリ）に録画された日時と録画回数が記録されたログファイルです。

Config.log.....G センサーの設定値や、SD カードの録画回数上限値等の各数値が記録された設定ファイルです。

LED インジケータ

本機は、本体前面に 3 個の LED インジケータを備えています。

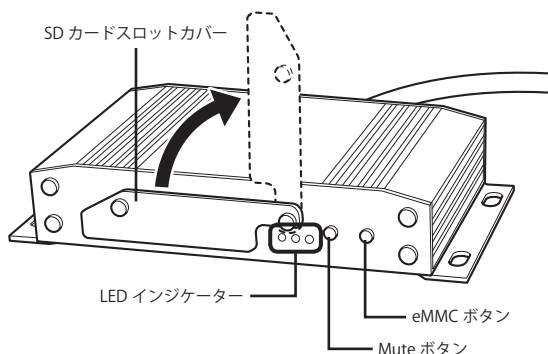
LED インジケータの色、点灯・点滅により、本体の状態を判断できます。



各 LED の機能、点灯・点滅パターン

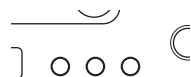
LED の機能	LED 色	状態・対応方法
LED1 ・電源 ・GPS ・SD スロット 1	点灯 (緑)	eMMC (本体メモリ) のデータコピー中。
	点灯 (橙)	GPS 測位完了。
	点灯 (赤)	本体電源 OFF 時の終了処理中。
	点滅 (橙)	GPS 測位中または本体電源 OFF 時のファイルクローズ処理中。
	点滅 (赤)	スロット 1 のエラー検出。
LED2 ・フロントカメラ ・SD スロット 2	点灯 (緑)	正常動作中。
	点灯 (橙)	無し
	点灯 (赤)	フロントカメラが認識されていません。正しく接続されているか確認してください。
	点滅 (橙)	フロントカメラ接続確認中。
LED3 ・MUTE ・eMMC	点灯 (緑)	ガイダンス音声 ON
	点灯 (赤)	ガイダンス音声 OFF
	点滅 (緑)	eMMC (本体メモリ) のデータコピー中。
	点滅 (赤)	eMMC (本体メモリ) のエラー検出。

SD カードの挿入



1. 本体電源 OFF (LED3 個が全て消灯) を確認する

LED が全て消灯



2. SD カードスロットカバーを持ち上げる

付属の工具を使用します。右側のネジを緩め、左側のネジを取り外し、SD カードスロットカバーを持ち上げてください。

3. 同梱品または弊社別売の SD カードを挿入する

※同梱品または弊社別売の SD カード以外は使用しないでください。本機が正常に作動しなくなる場合があります。

4. SD カードスロットカバーを固定する

SD カードを挿入後、SD カードスロットカバーをネジ 2 本で確実に固定してください。

eMMC（本体メモリ）からパソコンへのデータコピー

eMMC（本体メモリ）に記録されているデータを取り出すときは、別途 SD カードが必要です。

※eMMC（本体メモリ）内のデータを SD カードにコピーするときに、SD カード内のデータは全て削除されます。

1. SD カードを 1 枚も挿入していない状態で、本体電源を ON にする

2. eMMC ボタンを 7 秒以上押してデータコピーの準備をする

『SD カードが認識できません』というガイダンスが流れたら、eMMC ボタンを 7 秒以上押します。『eMMC のデータコピーを開始します。SD スロット 1 に空の SD カードをセットしてください』というガイダンスが流れたら、eMMC ボタンから指を離します。

3. 空の SD カードをスロット 1 に挿入する

※同梱品または弊社別売の SD カード以外は使用しないでください。本機が正常に作動しなくなる場合があります。

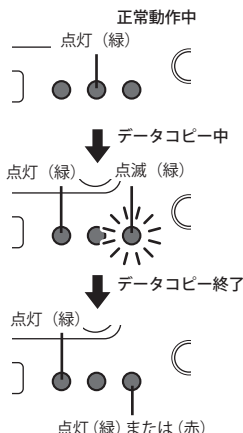
4. eMMC ボタンを短く 1 回押して eMMC（本体メモリ）のデータを SD カードにコピーする

データコピー中は、LED1 と LED2 が緑色に点灯、LED3 が緑色に点滅します。

※eMMC 内のデータ量によりコピー時間は変わりますが、最大約 10 分かかります。

コピーが終了すると『eMMC のデータコピーが終了しました。本体の電源プラグを抜いて再起動してください』というガイダンスが流れます。

5. 本体電源を OFF にする



本体ファームウェアのアップデート

本体のファームウェアは、SD カード経由でアップデート可能です。

1. 本体電源 OFF (全ての LED が消灯) を確認する

2. アップデート用ファームウェアが格納された SD カードをスロット 1 に挿入する

3. 本体電源を ON にする

SD カードが認識されると、全ての LED が赤色で点滅します。

4. eMMC ボタンを長押ししてアップデートを開始し、全ての LED が緑色の点滅に変わるまで押し続ける

eMMC ボタンを約 10 秒押し続けると、全ての LED が緑色の点滅に変わりアップデートが完了します。

5. 本体電源を OFF にする

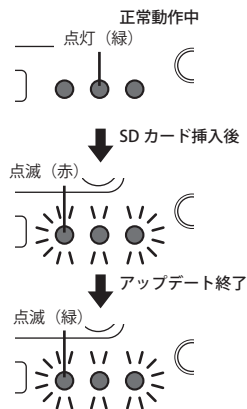
6. SD カードを取り出す

全ての LED が消灯したことを確認してから、SD カードを取り出します。

7. SD カードをフォーマットする

アップデート後は、必ず SD カードをフォーマットしてください。

ファームウェアのアップデートは、次回の本体電源 ON 時に反映されます。



仕様一覧表

ドライブレコーダー STX-001 / STX-001B

電源電圧		DC 12V/24V (マイナスアース車専用)
消費電力		7W (バックカメラほか接続時最大 9W)
カメラ素子		35万画素 カラー CMOS
視野角	フロントカメラ	水平 112度、垂直 84度
	室内カメラ	水平 112度、垂直 84度
画像サイズ	フロントカメラ	ワイドVGA (720 x 480)
	室内カメラ	ワイドVGA (720 x 480)
画質	フロントカメラ	WDR、ホワイトバランス
	室内カメラ	HDR、IR LED 付き
最低被写体照度		1 LUX (ルクス)
記録媒体		SDHC または SDXC カードに対応 (2GB ~ 128GB)
記録形式		H.264 (当社独自の暗号化処理済み)
フレームレート	フロントカメラ	通常録画モード:30fps、長時間録画モード (LONG10) : 10fps、長時間録画モード (LONG5) : 5fps
	室内カメラ	通常録画モード:30fps、長時間録画モード (LONG10) : 10fps、長時間録画モード (LONG5) : 5fps
動作温度範囲		-25℃ ~ +70℃
外形寸法	本体	140 (W) x 26 (H) x 75 (D)
	フロントカメラ	56.4 (W) x 35.3 (H) x 28.6 (D)
	室内カメラ	56.4 (W) x 35.3 (H) x 28.6 (D)
	GPS アンテナ	48 (W) x 39 (H) x 15.6 (D)
	マイク&スピーカー	47 (W) x 37 (H) x 18 (D)
重量	本体	約 323 g (ハーネス含む)
	フロントカメラ	約 99 g (ケーブル含む)
	室内カメラ	約 96 g (ケーブル含む)
	GPS アンテナ	約 95 g (ケーブル含む)
	マイク&スピーカー	約 107 g (ケーブル含む)

録画可能時間の目安

- ※ 1: 機種によっては、128GB の SD カードが非対応となります。ご使用機種の取扱説明書をご確認ください。
- ※ 2: 録画時間は、場所・天候・昼夜・周囲の環境や明るさによって変わります。下記の録画時間は、あくまで目安とお考えください。

STX シリーズ		SD カード容量			
		16GB	32GB	64GB	128GB
通常録画モード (NORM) (30fps)	1 枚使用時	約 4 時間	約 7 時間 30 分	約 15 時間	約 29 時間 30 分
	2 枚使用時	約 4 時間	約 7 時間 30 分	約 15 時間	約 29 時間 30 分
長時間録画モード (LONG10) (10fps)	1 枚使用時	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分
	2 枚使用時	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分	約 165 時間
長時間録画モード (LONG5) (5fps)	1 枚使用時	約 21 時間	約 42 時間	約 83 時間 30 分	約 165 時間
	2 枚使用時	約 42 時間	約 84 時間	約 167 時間	約 330 時間

メモリー容量は、Normal, Event にダイナミックに割り当てられます。

保証書

保証期間：お買い上げ日より3年間（本体のみ）

品名：ドライブレコーダー

型番：STX-001 / STX-001B

製造番号：

ご購入日： 年 月 日

ご氏名：

ご住所：〒

電話番号：

販売店名

住所

電話

ファックス

この保証書は STX-001 / STX-001B 取扱説明書の記載内容に基づく正常な使用において製造上の理由による故障や不具合が発生した場合に、お買い上げ日以降3年以内で本体の無償修理をお約束するものです。ご購入の際、販売店名、製造番号を直ちにご記入のうえ、大切に保管してください。但し、お客様の使用上の不注意、改造、不当な修理、天災地変による故障や損傷、日本国外でのご使用、あるいは本書の提示が無い場合は保証期間内であっても有償修理となります。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございます。ご了承ください。

The logo for SILVER-i, featuring a stylized 'S' symbol followed by the text 'SILVER-i' in a serif font.

株式会社 シルバーアイ



～ safety product ～

株式会社 シルバーアイ

シルバーアイカスタマーサポートセンター
〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-2

KDX 新横浜 214 ビル 5F

TEL:045-548-8952 FAX:045-548-8953

受付：10:00～12:00 13:00～17:00

(土・日・祭日・当社休日を除く)

<http://www.silver-i.co.jp/>